

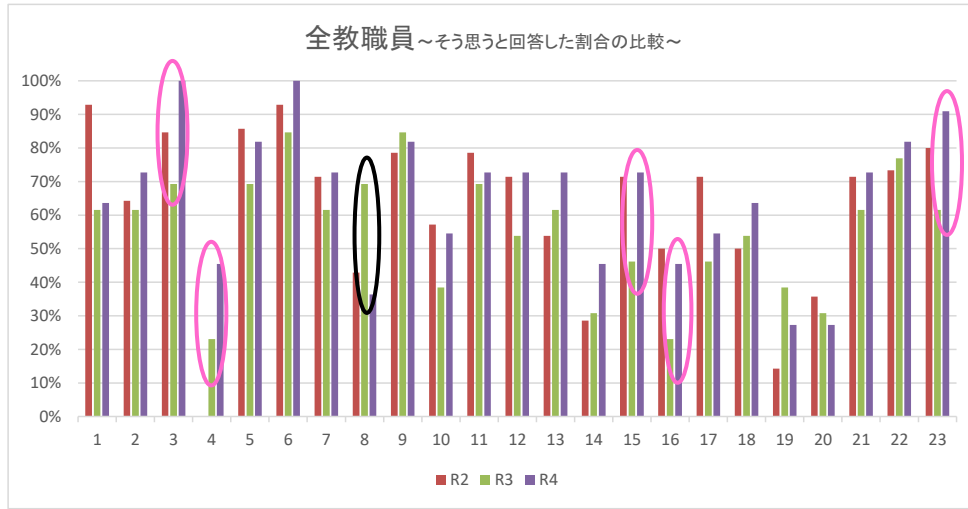
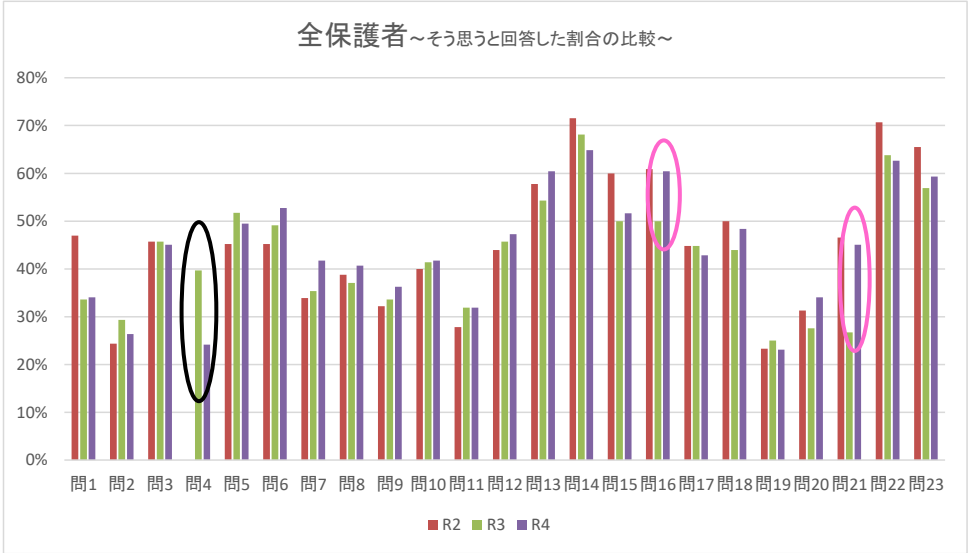
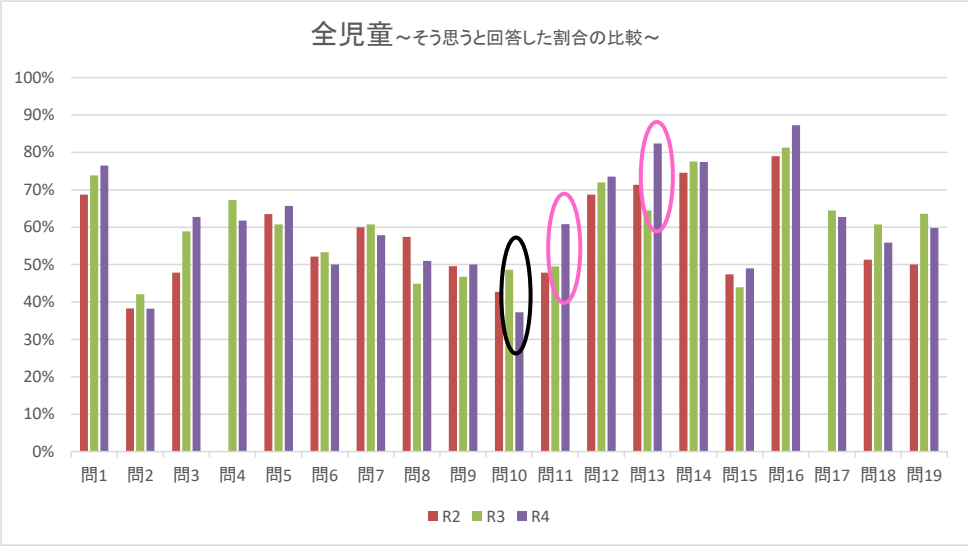
令和4年度 学校生活に関する質問紙集計結果から

…10%程度以上の増
…10%程度以上の減

①令和2年度7月調査 と 令和3年度7月調査 と 令和4年度7月調査の比較

設問の概要	
設問1	分かる授業
設問2	発言の仕方、話の聞き方
設問3	よさを伸ばす
設問4	タブレットの活用(R3から)
設問5	子どもたちの人間関係
設問6	学校のきまり
設問7	進んであいさつ
設問8	体力向上
設問9	教育相談
設問10	家庭学習
設問11	ていねいな言葉遣い
設問12	きれいな学校
設問13	学ぶ環境(教室内外掲示物等)
設問14	潤いのある学校、草花、生き物
設問15	学校の安心・安全
設問16	安全な登下校
設問17	児童:こどもかけこみ110番の家 保護者:学校行事等への参加(理解) 教職員:PTA行事への参加
設問18	児童:新しい生活様式(R2から) 保護者:教職員:教育活動などの情報発信
設問19	児童:自分のよさ(R2から) 保護者:学校への協力 教職員:PTA、地域への協力
設問20	地域等の人材、施設の活用
設問21	地域に迷惑をかけない指導
設問22	来客・電話などの対応
設問23	個人情報の管理

※設問17～19は、回答者によって異なります。
※設問20～23は保護者、教職員のための回答です。
※教職員については、20%程度以上の増減で表記



(質問紙集計結果から)

- 児童： それぞれの設問で「そう思う」とプラスの回答をしている児童が全体の50%を超している項目がほとんどである。
→ 学校生活において概ね満足している児童が多い。
→ 50%に満たない設問2「発言の仕方、話の聞き方」、設問10「家庭学習」については、今後継続的な指導を積み重ねていく必要がある。
- 設問11「丁寧な言葉づかい」、設問13「学ぶ環境」について「そう思う」と回答している児童が増えている。
→ 学校生活の環境が整い、生活しやすい、学びやすい環境になっている。
- 保護者： 経年変化を見る上で、大きな変化は見られず、例年と同様の傾向となっている。
→ 安定した学校生活が進められていると捉えている。
- 設問16「安全な登下校」、設問21「地域に迷惑を掛けない指導」について、「そう思う」と回答している保護者が前年より増えている。
→ 学校での継続的な指導が児童に定着し、(児童の「安全な登下校」の回答でも同様の傾向が見られる)保護者への理解が増している。
- 設問4「タブレットの活用」について、「そう思う」と回答している割合が減っている。
→ 活用当初は、目新しさもあり、意識している保護者も多かったので、機会を見つけて活用状況をお伝えしていく。
→ 学校生活での慣れてきていることと、タブレットを使う上での約束事等の周知徹底をはかる必要がある。
- 職員： 全体的に昨年度と比べ、「そう思う」と回答している割合が多くなっている。
→ 他人事ではなく、指導者としての意識の高まりや、学校運営の一員としての自覚が見られる。
→ PTA、地域への協力の部分については、コロナ禍の状況もあり、連携が十分とりづらい状況である。できることから進めていきたい。
- 設問4「タブレットの活用」については、「そう思う」と回答している職員が増えている。
→ まず使ってみようという意識が高まり、授業時に活用したり、授業配信に活用したりする場面が増えてきた。
- 設問8「体力向上」については、「そう思う」と回答している職員が減っている。
→ コロナ禍の状況でできることから、少しずつ進めていく必要がある。